

結婚に関するアンケート 結果報告書

北秋田市 産業部 産業政策課
移住・定住支援室
令和8年 9月

目次

1.アンケート調査の概要	P1
--------------	----

2.調査結果の概要と考察

回答者の属性

問1 性別	P2
問2 年齢	P2

結婚に関する意識とニーズ

問3 あなたは結婚を希望していますか？	P3
問4 結婚に求めるものは何ですか？	P4
問5 自分に必要だと思う支援はありますか？	P5
問6 イベント・セミナーの内容についての希望(自由記載)	P5
問7 結婚を決めるときに重視することは何ですか？	P6, 7
問8 結婚する時期について希望はありますか？	P7, 8
問9 結婚相手との年齢差について希望はありますか？	P9
問10 現在独身でいる理由を教えてください	P10

あきた結婚支援センターの認知・利用意向

問11 「県事業」あきた結婚支援センターについて知っていますか？	P11
問12 「市事業」あきた結婚支援センターの入会登録料全額補助について知っていますか？	P11
問13 入会登録料全額補助も踏まえて、あきた結婚支援センターを利用したいですか？	P12
問14 「問13」で使用しないを選んだ理由	P12

自由意見・要望

問15 出会い・結婚についてご意見・ご要望をお聞かせください(自由記載)	P13
--------------------------------------	-----

3.まとめ	P13
-------	-----

1. アンケート調査の概要

(1) 目的

本調査は、北秋田市における独身者の結婚に関する意識やニーズ、支援への要望を把握し、今後の出会い・結婚の支援事業(婚活イベント・セミナーの実施等)の企画、検討の基礎資料とすることを目的とする。

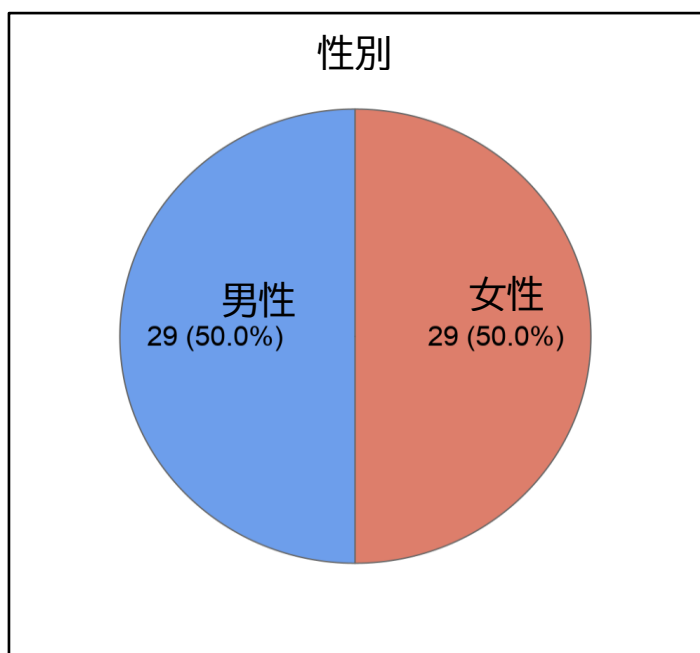
(2) 調査概要

- ・調査期間: 2026年 6 月1日～8月10日
- ・調査対象: 市内在住・在勤の独身者。調査事項
- ・調査方法: 無記名式アンケート(Google フォームを利用した Web 回答)
市内 56 企業、4福祉法人、10店舗、および、個人へチラシを配布と市ホームページ、公式 INE 等の広報を活用し周知。
- ・回答数: 58件。
- ・算出基準: 2026 年4月現在の年齢を基準として算出。割合は(%)で小数点第2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

2.調査結果の概要と考察

問 1 性別

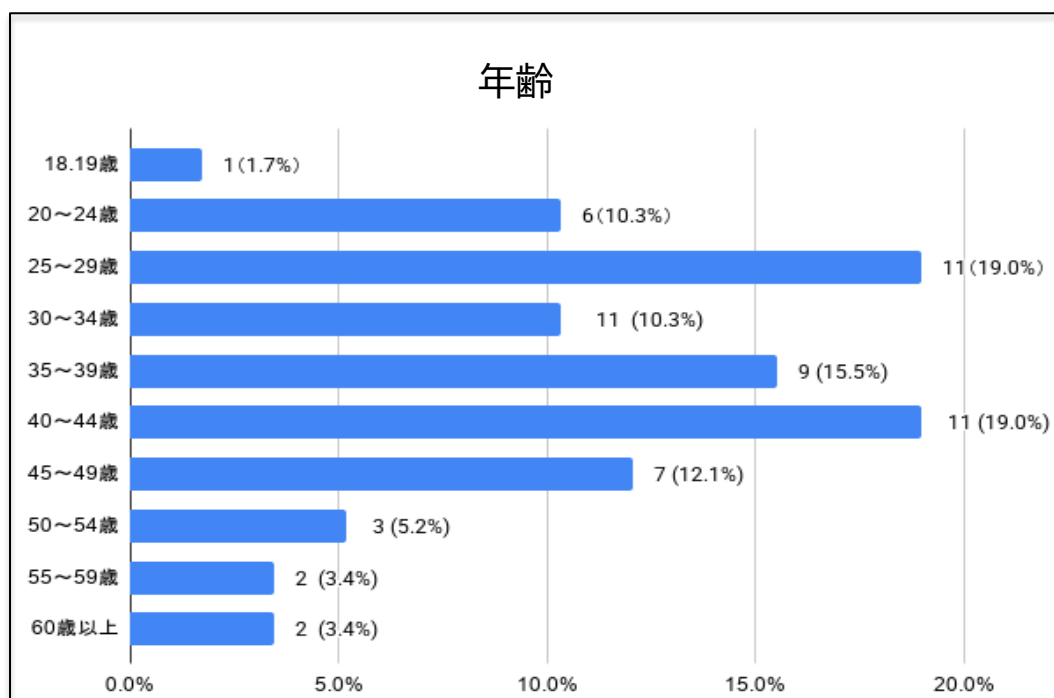
男性 29 人(50%)、女性 29 人(50%)と同数であり、男女の偏りのない回答が得られた。



n=58

問 2 年齢

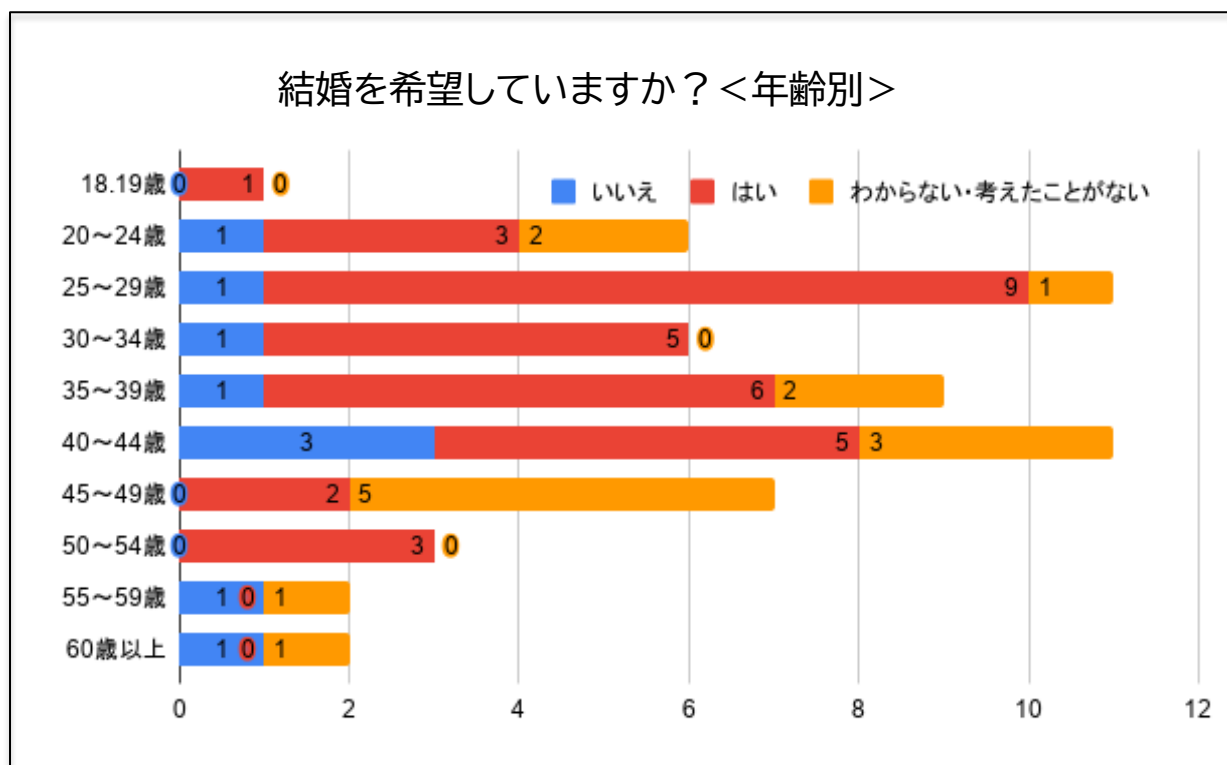
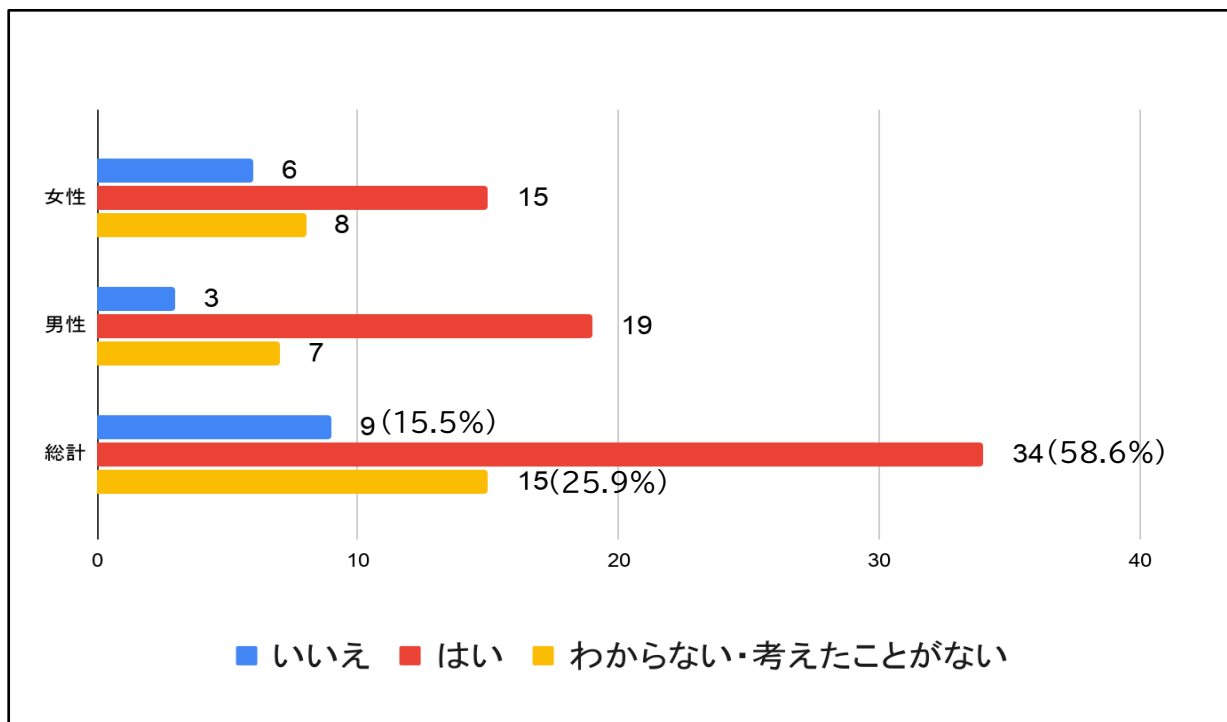
25～29 歳6人(19.0%)、および 40～44 歳11人(19.0%)が最も多く、20 代から 40 代が全体の(86.2%)を占めている。



n=58

問 3 あなたは結婚を希望していますか？

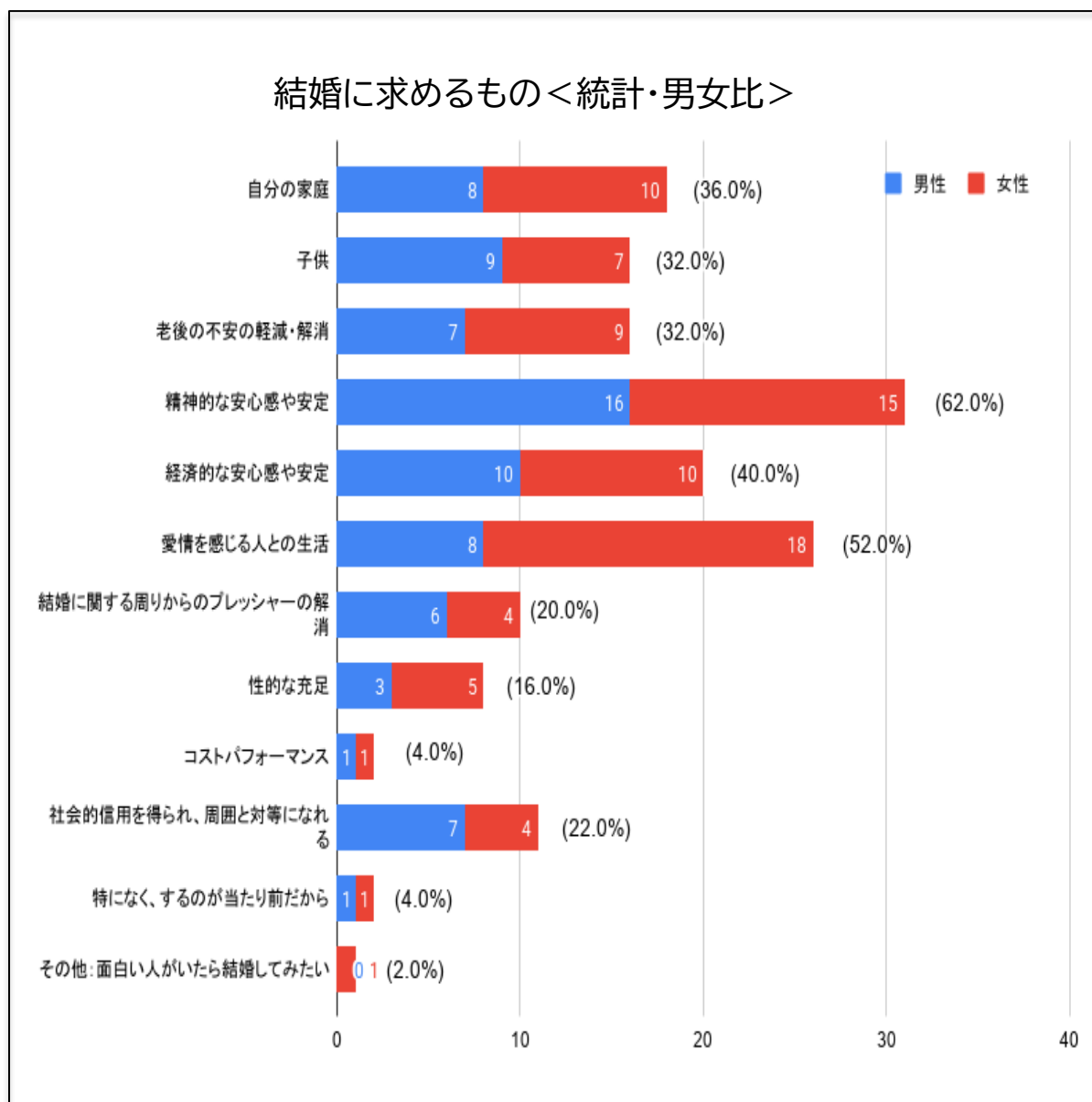
34 人(58.6%)が「はい」と回答した。次いで、「わからない・考えたことがない」で15人(25.9%)となった。年齢別では、54歳以下までは結婚を希望する割合が高い一方、55歳以上では「いいえ」または「わからない・考えたことがない」のみとなる傾向が見られた。



n=58

問 4 結婚に求めるものは何ですか？5つまで選択可

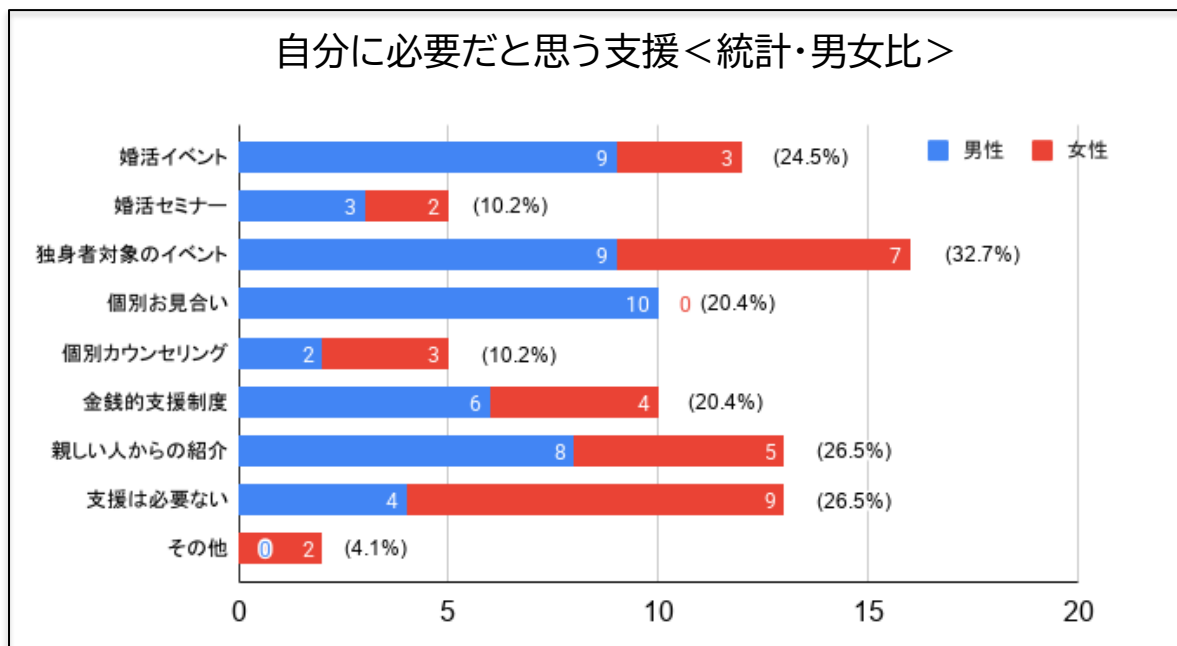
最も多い回答は「精神的な安心感や安定」31人(62.0%)であった。次いで「愛情を感じる人との生活」26人(52.0%)が挙げられたが、女性の割合が特に高く、男女間で意識の差が見られた。



n=50

問 5 自分に必要だと思う支援はありますか？3つまで選択可

「独身者対象のイベント」が16人(32.7%)や「親しい人からの紹介」13人(26.5%)のニーズが高い。一方で「支援は必要ない」との回答も13人(26.5%)存在した。また「個別お見合い」10人(20.4%)は男性のみからの回答となった。



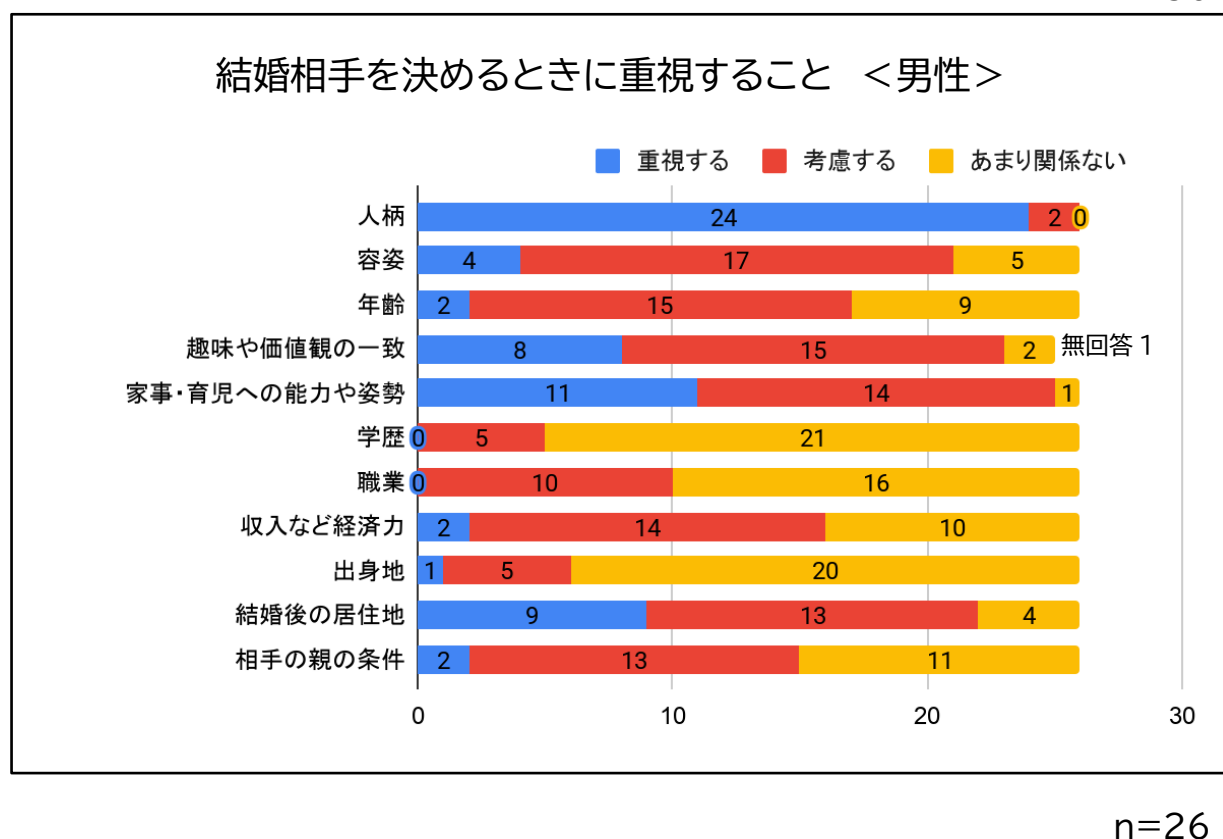
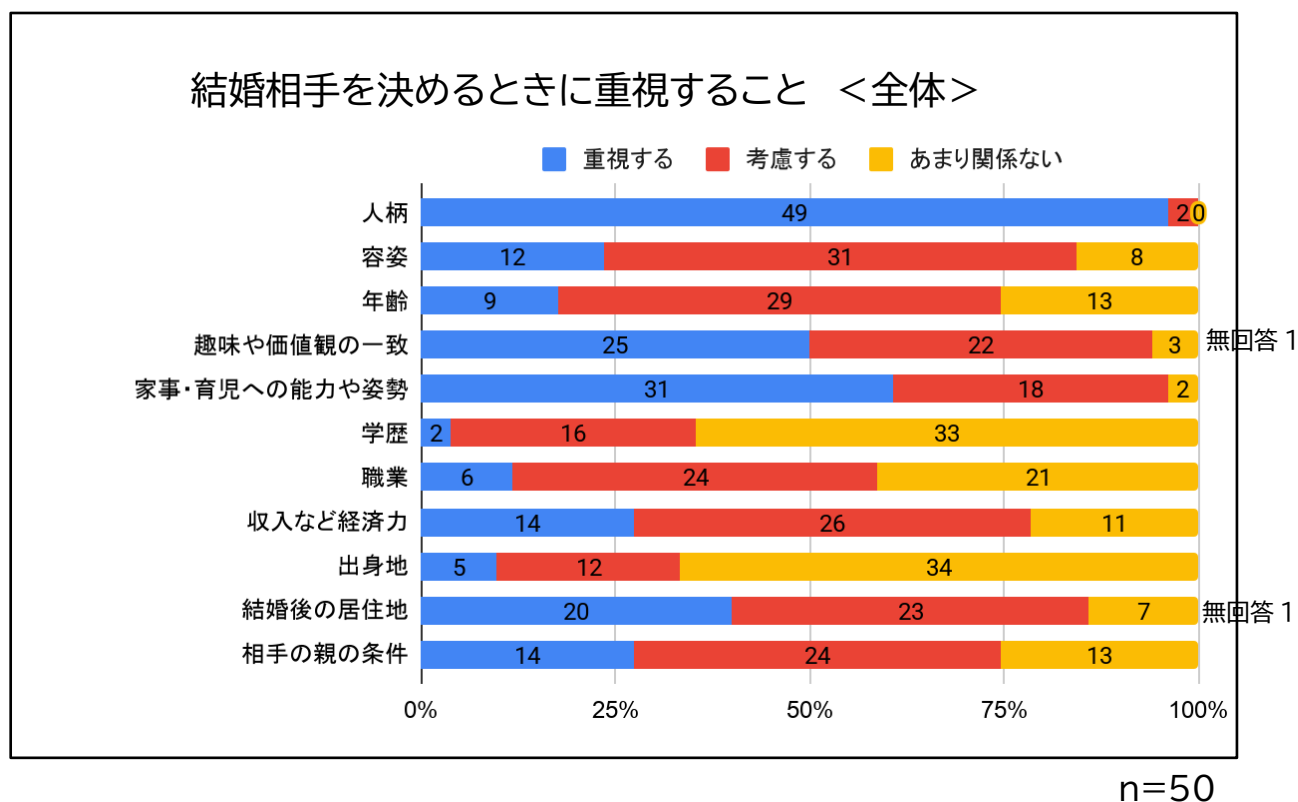
n=50

問 6 【問5でイベント・セミナーを選択した方】イベント・セミナーの内容に希望がありましたら教えてください。

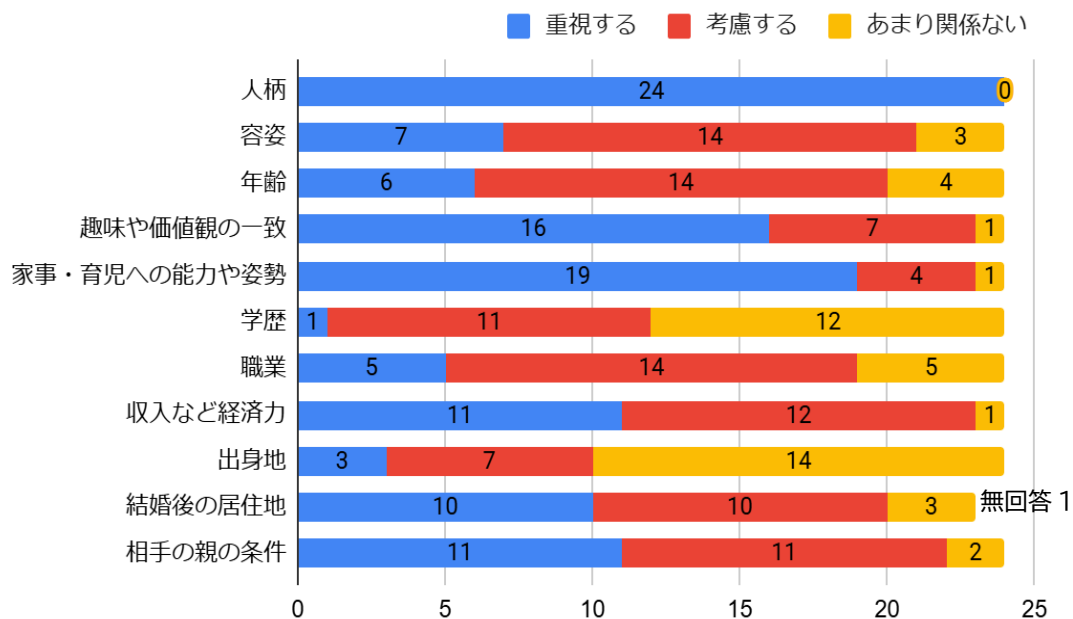
- ・カジュアルで参加しやすい服装・雰囲気のイベント
- ・結婚感を前面に出さない、ユニークで楽しめる企画やゲーム付きのイベント
- ・1人でも参加しやすい環境整備や自分磨き講座

問 7 結婚相手を決めるときに重視することは何ですか？

「人柄」は重視する、考慮するのみの回答で 100% となり、最重要視されている。一方で「学歴」や「出身地」はあまり関係ないとする割合が高かった。



結婚相手を決めるときに重視すること <女性>

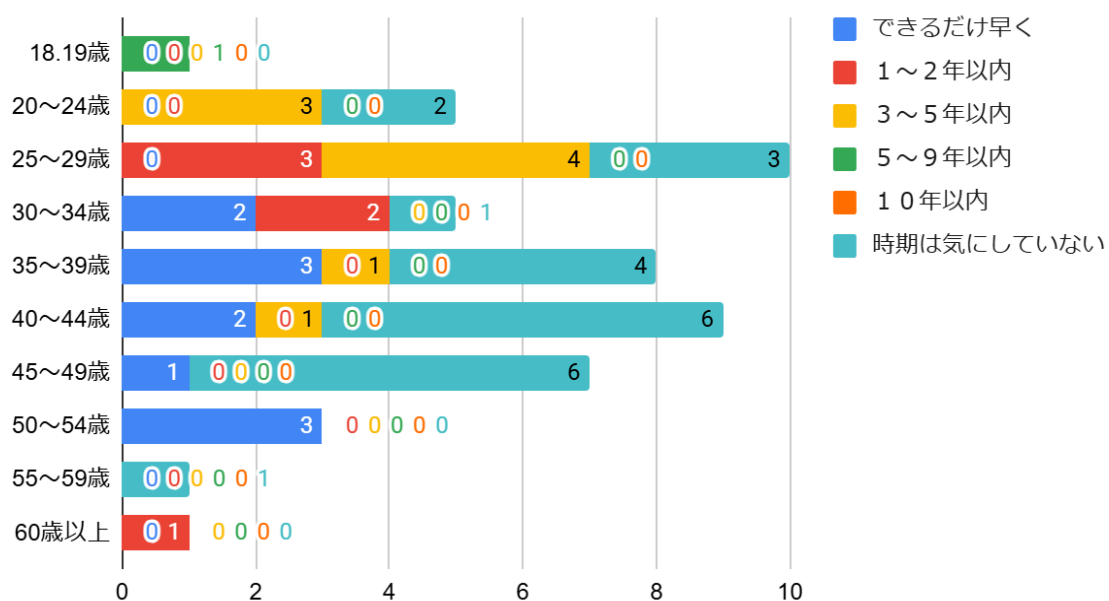


n=24

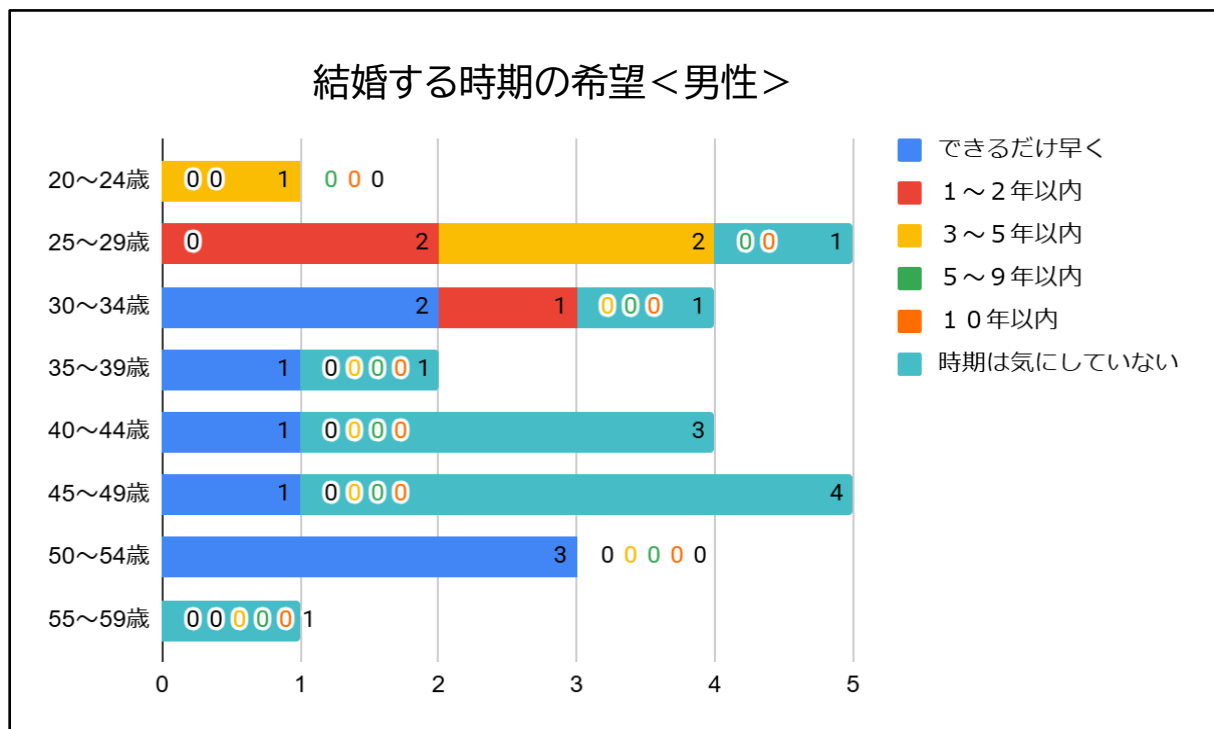
問 8 結婚する時期について希望はありますか？

「時期は気にしていない」23 人(40.0%)が最多だが、「できるだけ早く」11人(22.0%)、「3～5年以内」9 人(18.0%)、「1～2 年以内」6 人(12.0%)など早期の結婚を望む層も一定数存在する。

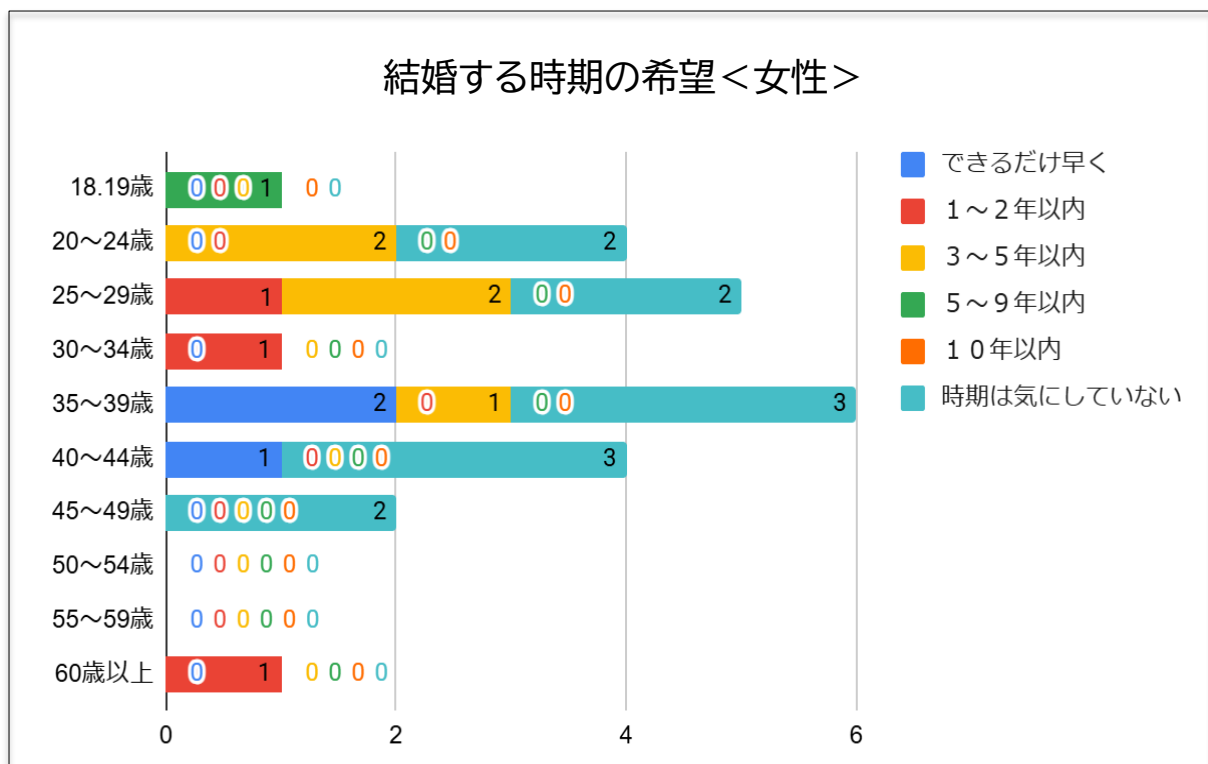
結婚する時期の希望 <全体>



n=50



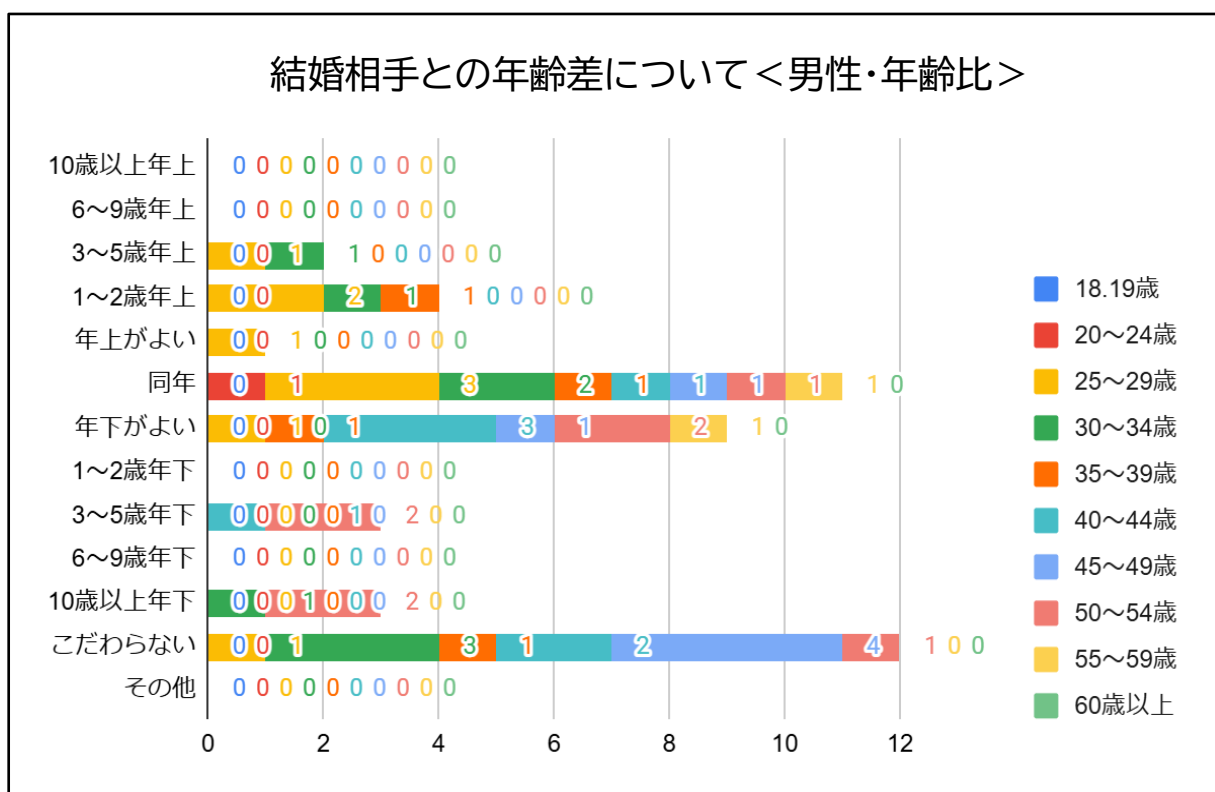
n=26



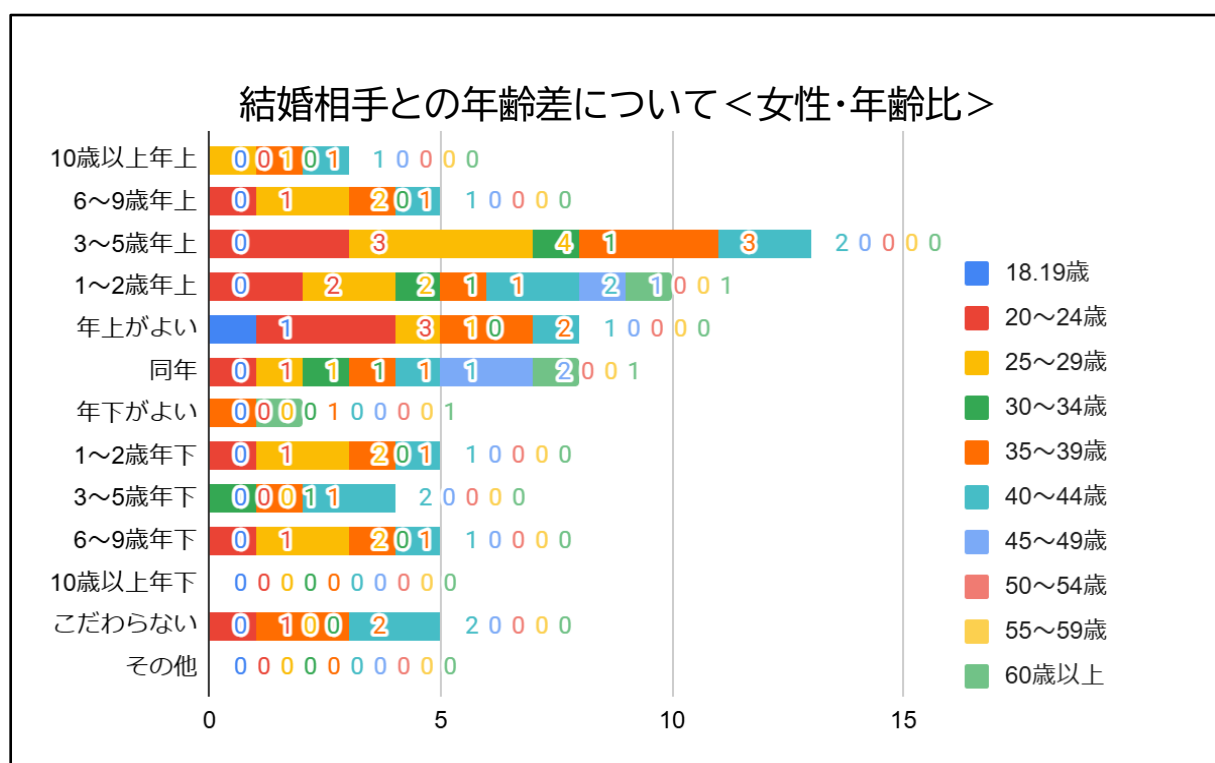
n=24

問 9 結婚相手との年齢差について希望はありますか？7つまで選択可

女性は「同年」から[3～5 歳年上]を求める傾向が強く、男性だけでは「こだわらない」12人(46.2%)「同年」が11人(42.3%)「年下がよい」9人(34.6%)と分散した。



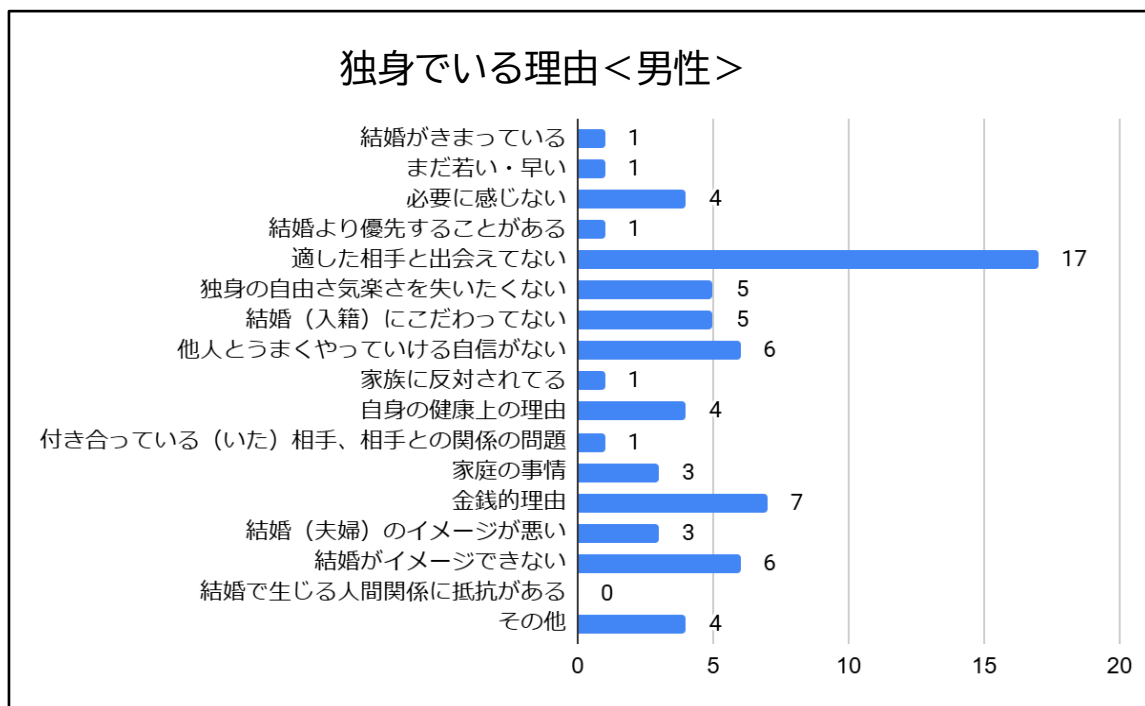
n=26



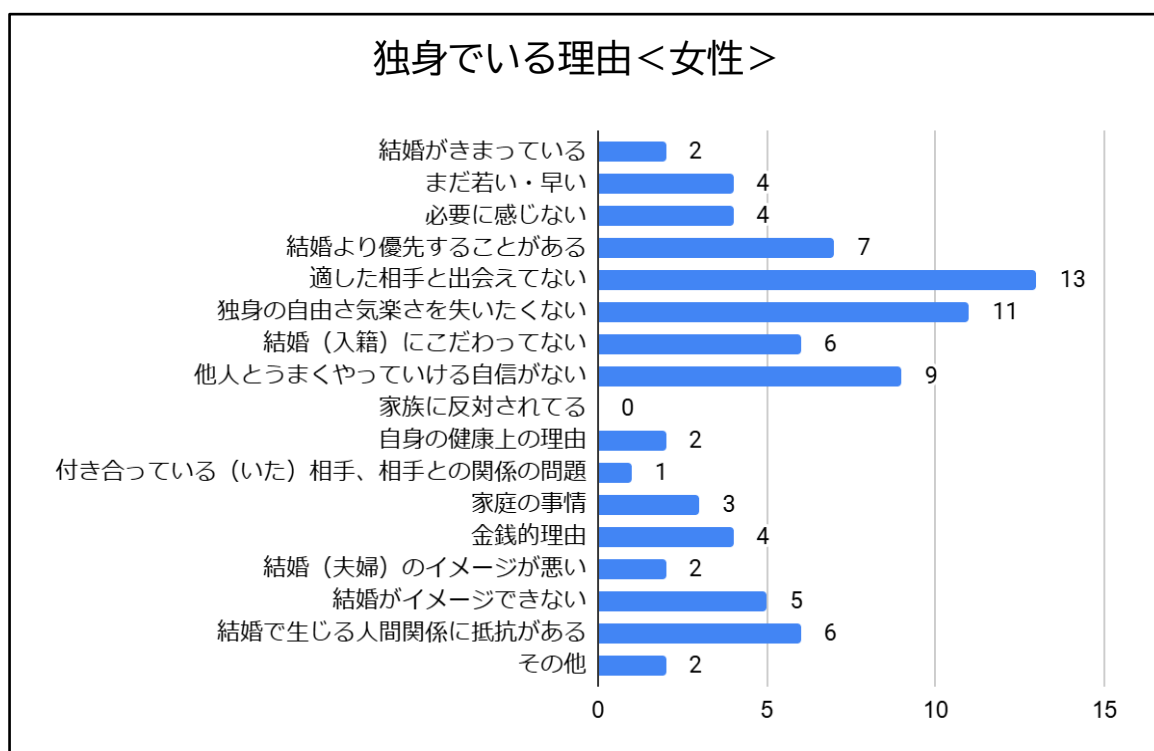
n=24

問 10 現在独身でいる理由を教えてください 5 つまで選択可

男女ともに「適した相手と出会えていない」30人(51.7%)が最多の理由であった。女性の次点理由として「独身の自由さ気楽さを失いたくない」11人(19.0%)「他人とうまくやっていける自信がない」9人(15.5%)が挙がり、男性では「金銭的理由」7人(12.1%)が挙げられた。



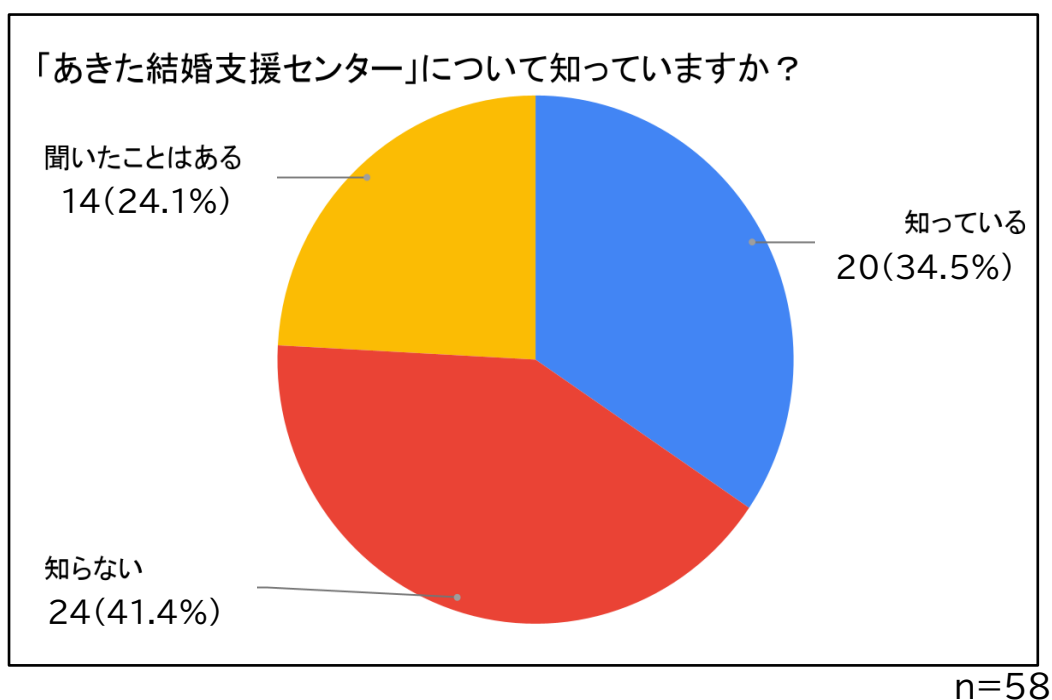
n=29



n=29

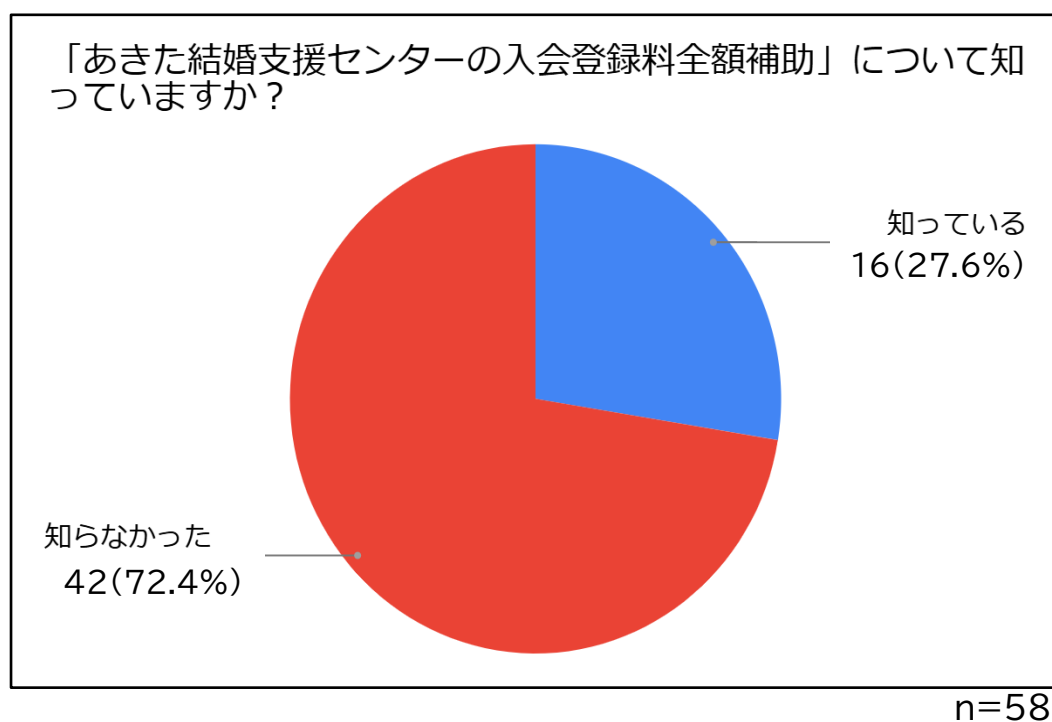
問 11 秋田結婚支援センターについて知っていますか？

「知っている」「聞いたこととはある」で34人(58.6%)の認知度であったが、「知らない」が24人(41.4%)を占めた。



問 12 あきた結婚支援センターの入会登録料全額補助について知っていますか？

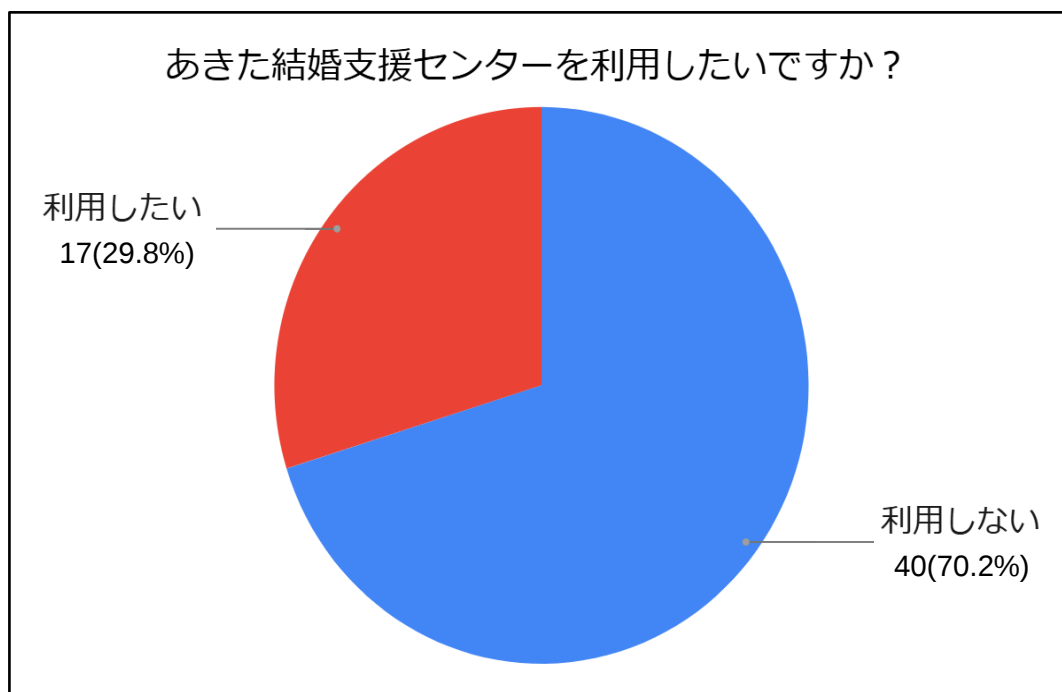
「知らなかった」が42人(72.4%)に達し、周知不足が浮き彫りとなった。



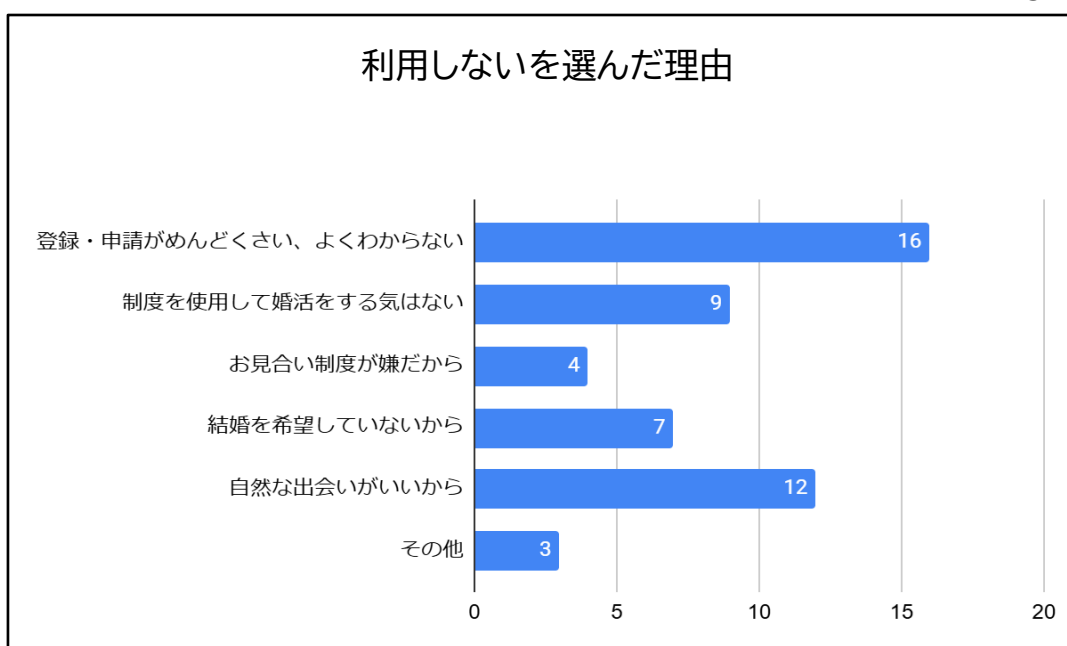
問 13 入会登録料全額補助も踏まえて、あきた結婚支援センターを利用したいですか？

問 14 問 13 で利用しないを選んだ方、理由を教えてください。3 つまで選択可

補助制度を踏まえても「利用しない」が 40 人(70.2%)を占めた。利用しない理由「登録・申請がめんどくさい・よくわからない」16 人(31.4%)が最多で、次いで「自然な出会いがいいから」12 人(23.5%)、「制度を使用して婚活をする気はない」9 人(17.6%)となった。



n=57



n=38

問 15 その他出会い・結婚についてご意見・ご要望をお聞かせください。

- ・イベント参加やマッチングに関する噂話が広まるのを避けたい。個人情報の保護を徹底して欲しい。
- ・過度な婚活・結婚のプレッシャーや古い価値観を押し付けない等、時代に合わせた意識改革が必要。
- ・雇用や経済面での安定が欠かせない。根本的な生活基盤の支援も合わせて考えて欲しい。

3.まとめ

本調査は回答数 58 件と小規模ではあるものの、男女比 1:1 で均等な回答が得られ、当市の独身者が抱える結婚への意識と課題が明確になった。

・出会いの機会とイベント企画

「適した相手と出会えない」ことが最大の独身理由である一方で、既存の「あきた結婚支援センター」の利用には手続きの手間やハードルの高さを感じている層が多い。

今後は気軽に参加できるカジュアルなイベントを企画する一方で、実施する際は「素性が知れるかもしれない」という不安やプライバシーに配慮することが求められる。

・「あきた結婚支援センター」の認知度の向上

入会登録料全額補助の認知率が 27.6%にとどまっているため、周知の強化と、申請に係る手続きを具体的に周知することで、ハードルが下がるような工夫が必要である。

・金銭的課題と意識改革

結婚への阻害要因には「精神的」「関係性の不安」に加え、「経済的理由」も挙げられる。出会いイベントの実施にとどまらず、結婚応援支援制度や友活などの周知も必要である。また多様なライフスタイルを尊重した意識啓発など総合的な支援が求められている。